



SOFTIGEN[®] 767 / 767-M

INCI: PEG-6 Caprylic / Capric Glycerides

粘度低減

可溶化剤

保湿剤/加脂剤

販売代理店

W 綿半トレーディング株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-4

TEL:03-3353-2303 FAX: 03-3353-2545



IOI OLEOCHEMICAL



INCI名 : PEG-6 Caprylic/Capric Glycerides

化粧品表示名称 : (カプリル酸／カプリン酸) P E G - 6 グリセリズ

外原規 : ポリオキシエチレン(カプリル／カプリン酸)グリセリル

中国INCI名 : PEG-6 辛酸/癸酸甘油酯类

1. 製品紹介

SOFTIGEN® 767は加脂剤及び溶媒界面活性可溶化剤としてご使用できる界面活性剤で、ヤシ油パーム核油から抽出された脂肪酸による、中鎖部分グリセライドのエトキシ化生成物です。製品は水にクリアな状態で溶かすことができます。

約160 mPasの粘度、20°Cで約1.08 g/cm³の密度、そしてわずかな臭いと黄色い特長がある製品です。また溶媒・保存料・その他添加剤は含まれていません。そしてIOIの精製技術により、極めて低いモノマー残留率に成功しています。

綿半トレーディングでは国内精製した脱臭・脱色タイプのグレードも提供しています。
(SOFTIGEN® 767-M)

2. 特長

HLB値が約14であるため、SOFTIGEN® 767は香料、エッセンシャルオイル、及び揮発性の結晶質を可溶化することができます。

製品は処方中の粘度を低下させる効果があります。従って、より多くの界面活性剤を液体処方に使用することが可能です(図1参照)。

製品は安定的で、水性系の処方において加水分解は加熱したとしても発生しません。

3. 化粧品における効果

SOFTIGEN®767は素肌に優しいエモリエントで、様々なタイプの素肌にご使用いただけます。

SOFTIGEN®767は心地よい肌触りを提供します。高希釈のリンソフ製品になると、非水溶性になるためその効果が期待できます。

化学的、物理的および生理学的特性に基づき、加脂剤としての使用を推奨します。

SOFTIGEN®767は脂質を残し、肌のしなやかさを改善します。特に、脱脂作用のあるクレンジングの際に、しっとりした感触を残します。



IOI OLEOCHEMICAL

 綿半トレーディング株式会社



SOFTIGEN® 767と溶媒の親和性

溶媒	SOFTIGEN® 767
エタノール 96%	いかなる比率でクリアに混和可能
イソプロパノール	いかなる比率でクリアに混和可能
エチルブチルアセテート	いかなる比率でクリアに混和可能
グリセロール	90%まで混和可能
アーモンドオイル	ほとんど溶解しない
ヒマシ油	いかなる比率でクリアに混和可能
ミネラルオイル	ほとんど溶解しない
水	SOFTIGEN® 767の比率が0.1 % to 0.8 %の場合、濁りが確認される。0.9%以上の比率でクリアに混和可能。温度が上昇すると混濁が確認できる

アプリケーション

溶解性及び臨界ミセル濃度

シャワージェル クレンジング シャンプー

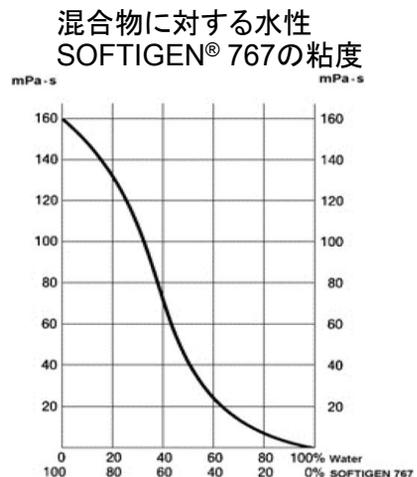
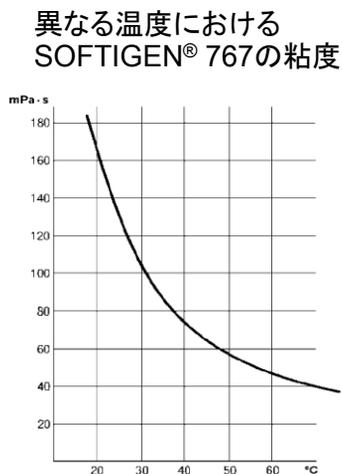
香料 液体石鹸 バス添加物

99.5 % 99 % 95 % 50 %
0.5 % 1 % 5 % 50 %

SOFTIGEN 767 - Water Mixtures

※水 (上) SOFTIGEN® 767 (下)

図1: SOFTIGEN® 767の粘度





SOFTIGEN® 767の溶解効果

水と界面活性剤の混合物 CAPB9%⁽¹⁾とSLES9%⁽²⁾

SOFTIGEN® 767 - 量 (%)	0	1	3	5	10
約20°Cにおける粘度 (mPas)	19 500	6 000	310	200	110

*Brookfield-Viscosimeterにより計測された粘度

(1) INCI/CTFA名 : Cocamidopropyl Betaine

(2) INCI/CTFA名 : Sodium Laureth Sulpbate

4.処方例: ミセラークレンジングウォーター

相	製品名 旧	INCI名	表示名称	量(%)
A	SOFTIGEN® 767	PEG-6 Caprylic/ Capric Glycerides	(カプリル酸/カプリン酸)PEG-6グリセリズ	6,0
A	IMWITOR® PG4 Cocoate	Polyglyceryl-4 Cocoate	ヤシ油脂肪酸ポリグリセリル-4	1,5
A	Hexylene Glycol	Hexylene Glycol	ヘキシレングリコール	7,0
A	Euxyl® PE 9010	Phenoxyethanol, Ethylhexylglycerin	フェノキシエタノール、エチルヘキシルグリセリン	0,8
B	Cosmacol® NII9	C12-13 Pareth-9	(C12, 13)パレス-9	1,0
B	Fragrance	Parfum (EU)/ Fragrance (US)	香料	q.s.
C	Aqua dem.	Aqua	水	81,6
C	Cosi-Plant Witch Hazel Extract	Glycerin, Aqua, Hamamelis Virginiana Bark/ Leaf/ Twig Extract	グリセリン、水、ハマメリス樹皮/葉/枝エキス	1,0
C	Panthenol	Panthenol	パンテノール	1,0
C	Disodium EDTA	Disodium EDTA	EDTA-2Na	0,1

1.手順:

- 1.A相がクリアになるまで攪拌する。
- 2.攪拌したB相をA相に加える。
- 3.AとBの混合相に少しずつC相を加え希釈する。

この情報はIOI Oleo GmbHが直接的または暗示的に製品が商業的である、あるいは特定の目的に対し有益であると示唆及び保障するものではなく、またこの資料における製品は他社の知的財産権を侵害せずに使用出来得ると保障するものでもありません。この資料における情報は公式販売規約&条件の一部に相当するものではありません。



IOI OLEOCHEMICAL

綿半トレーディング株式会社